

行革のすすめ

Vol.10
平成23年12月1日

(いんたらネットふくい「職員のひろば」-左下メニュー「行革のすすめ」)



民間企業から学ぼう！

県では、民間企業の経営的感覚やコスト意識、企画力や発想力などの習得を目指すため、若手職員の民間企業への派遣を行っており、現在も5名の職員が商社を中心に県庁では得られない業務経験を積んでいます。

今回、現在民間企業に派遣されている職員に、バーチャル座談会形式でそれぞれの会社での仕事の進め方について語っていただきましたので、皆さんの日頃の業務の進め方改革に役立ててください。

ミーティングの違い



A社では、週に一度、グループ全員でのミーティングを1～2時間程度実施し、各自が業務の進捗について報告し、情報の共有を行っています。
ここでは、作業途中の業務について上司から指導や助言を受けるほか、他のメンバーからも質問が出て議論に発展することも多々あります。他のメンバーからの質問や情報提供も業務を進めていく上で、とても重要と感じています。



B社でも、毎週月曜日のミーティングで業務の進捗管理を行っています。
進捗管理と言っても、これまでの状況報告では済まされず、「これから何をしたいか、どのように業務を進めたいか」を言わなければなりません。また、ミーティングでは必ず結論を出すことになっています。



C社では、関連部署とのミーティングも定期的に(月に1回以上)行っています。ランチを食べながらという時もあります。

進捗管理と
情報交換



行動をカエルくん



ミーティングは、自分の担当外の情報も入手でき、勉強できる場とも感じています。また、出張や会議内容の報告、業務外で得た有益な情報について交換し合うなど、グループ全体の力の底上げに役立っています。

スピードの違い



C社では、資料作りに時間をかけないよう徹底しています。例えば、自分以外の者が作成した資料など、既存の資料をできる限り活用したり、修正も既存資料を少しカスタマイズすることを最優先にしています。



打合せの前には打合せ事項と関係資料を必ず事前にメールで共有し、各自が目を通して議論の方向性を検討しておきます。

そのため、打合せでは説明に時間をかけることなく議論に集中することができ、会議時間の短縮とスピーディな意思決定に役立っています。



出張した場合、報告書は原則その日のうちに提出することになっています(ただし、内容を詳細にまとめる必要はなく、ポイントだけ)。また、その報告書には何らかの結論や今後の方向性についての考え方を盛り込まなければなりません。

その日のうちに報告するためには、出張前の念入りな情報収集など、事前勉強が欠かせないので大変です。

業務をスピーディーに進めるという意味では、県庁で取り組んでいるワンデーレスポンスと考え方は同じだろうと思います。

情報共有の徹底と
情報セキュリティ対策



仕事をカエルくん

情報共有・情報管理の違い



ミーティングや会議とは別に、メールのCCを活用し、担当外の業務についてもグループ内での情報共有に努めています。担当以外の者が電話をとった時でも、たらいまわしをせずに速やかに対応することができます。

また、メールは情報を残すことができるため、内容を忘れても後日振り返るときに便利です。



A社では、簡易な報告のほか、意思決定の伺いや資料の配付等にもメールを活用しています。

また、一連のメールのやり取りの中で、CC送信者からも内容についての助言があるなど、簡単な打合せ的な使い方もしています。



D社では、外部へのメール送信について厳格なルールがあります。メールで送信できるのは業務内容に限定されており、上司に必ずCC送信する、重要情報は添付ファイルにしてパスワードをかけなければなりません。

上司による再チェックなどが義務付けられており、情報共有と同時に情報セキュリティ対策も徹底しています。

グローバル観の違い



社内では、英語を話すのは当然で、中国語やスペイン語で会話や電話をしている人もいます。ビジネスに必要な語学力は持って当然という雰囲気なので、私もこちらに来てから英語の勉強を始めました。

どの民間企業もそうだと思いますが、グローバルな動きを常に意識し、日々の仕事をしています。自分たちは日本だけでなく、世界の中で仕事をしているということを実感させられます。



上司からは「英語を上手く話す必要はない。英語が話せるから仕事ができる訳ではない。英語で自分の意思を伝えることが大事。」とされています。また、「海外に対する関心を深め“外からみた日本”という視点を持ったグローバルな人材になるように。」とされています。

人材育成の違い



A社では、人材育成に時間とお金をかけています。ただし、研修も単に講師の話を聞くものではなく、事前に課題を与えられ、準備しないといけないものばかりです。また、研修の成果を求められ、例えば TOEIC500点の人でも、一年後には850点以上とらなければいけません。

こんなに厳しいものですが、みなさん仕事がどんなに忙しくてもチャンスととらえ、積極的に研修を受けています。

その他の違い



D社では、毎朝、業務成果が発表されます。また、週1回、優秀な営業成績者を社員の前で表彰するなど、社員のモチベーションをあげる工夫がされています。

また、社員の健康管理やコスト削減、情報管理等の観点からだと思いますが22時には必ず帰宅しなければならないなど、出退時間の管理も徹底しており、休日出勤も必ず申請が必要です。

効率よく仕事を
進めて22時まで
には全員退社！



定時に
カエルくん



社員のみなさん各自が会社を代表して仕事をしている意識を強く持っています。私も福井県の代表として、政策や観光、産業など様々な分野に関心を持ち、話せるようにしなければと思っています。

外部の視点で見ると、県庁では当たり前の仕事の進め方にも改善点が多いことに気が付きます。

上記の対談内容は、県庁でもすぐに始められることばかりですので、各所属においても、仕事がスムーズに進むよう改善に取り組んでください。



民間企業派遣者報告会が開催されました



11月24日（木）13:00から6階大会議室で「民間企業派遣者報告会」が開催されました。

派遣者からは、現在派遣されている企業の概略や、担当している業務の説明に加え、「県庁とは全く異なる業務を担当し、民間企業での仕事の進め方はもちろん、国内外の人脈形成や幅広い知識の習得ができ、とても良い経験をしている。」「客観的に福井県の良いところや悪いところなど、今までは気が付かなかったことを改めて認識することができた。」といった民間企業での仕事で感じていることなども報告がありました。



川口主査



当日は約50名の職員が参加し、質疑応答では、「県と民間企業の意味決定の方法の違い」や、「民間企業で仕事ができる人とは」、「民間企業の成果の考え方」など、積極的に質問する参加者が多くおり、民間企業の業務の進め方への関心の高さが現れていました。

瓜生主査

今回の報告者4名は、いずれもこの春から民間企業へ派遣され、半年ほど経過したところです。今後も彼らが民間企業の効果的な仕事の進め方などを日々の業務で経験することで、県へのさらなるフィードバックが期待されます。



藤崎主事



黒瀬主事

また、この報告会に先立ち、中国の日系企業に派遣されている黒瀬主事は足羽高校を訪問。国際科中国語コースの生徒に、中国の現状や語学力の必要性について中国語を使って講演を行いました。

生徒も、年代の近い黒瀬主事の海外勤務の経験談を自分の近い将来に重ね合わせることができ、いい刺激となったようです。

冬の健康管理

寒さに負けるな!

冬の冷たく乾燥した空気や寒さは、身体機能を低下させます。この時期に寝不足や過労などで免疫力が低下すると、風邪、インフルエンザ、ノロウイルスなどの感染症にかかりやすくなりますので注意し、寒い冬を元気に乗り切りましょう。



★栄養はバランスよく

栄養の偏りは免疫力を低下させます。バランスの良い食事を心がけましょう。日頃不足しがちな野菜は、ビタミンが多く含まれ免疫力をアップさせますので、積極的に摂りましょう。



野菜と魚介類がバランスよく摂れる鍋は最適!

★飲みすぎに注意

忘年会や新年会などお酒を飲む機会が多い時期です。体調を崩さないように気をつけて楽しみましょう。

万一、飲み過ぎてしまった場合はアルコールの排泄を促すため水分を多く取りましょう。



お酒の上手な飲み方

- ① 空腹で飲まない
- ② 食べながら飲む
- ③ 酒の合間に水やお茶を飲む
- ④ アルコール度の高いお酒は水やソーダで割って飲む

★適度な運動



寒くなると代謝が低下し、家でゴロゴロすることが多く運動不足になりがちです。体重も増えやすく要注意です。

適度な運動は、血行を促進し身体の調子を整え、免疫力を高めることができます。また、肩こりや腰痛などの予防にもなります。積極的に体を動かすようにしましょう。

心も身体もほぐしましょう



★血圧に要注意

寒さは、手足の血管を収縮させて血圧を上げます。

また、寒さだけでなく温度差が大きいと血管に負担をかけ、急激に血圧が上がり心臓や脳血管の障害を起します。血圧の高い方は、血圧の管理を十分に行い、外出時は暖かい服装で出かけましょう。



自分の血圧を知っておきましょう

★十分な睡眠

寝る前にお風呂にゆっくり入る、好きな音楽を聴く、読書をするなどリラックスする時間をとりましょう。詳しくは、「行革のすすめ 10月号」をご覧ください。

●インフルエンザなどの感染症予防のお約束!!●

インフルエンザの流行に備えて、一人ひとりができることをみんなで守りましょう。

外出から帰ったらすぐに手を洗おう

石鹸やハンドソープを使って 15 秒以上、手のひらだけでなく、手の甲、指の間やつめの間、手首までしっかり洗います。洗った後は清潔なタオルなどで十分にふきとります。



お口をかばおう

咳やくしゃみなどの症状があるときは、きちんとマスクをします。人に向かって咳やくしゃみせず、とっさに出そうなときは、顔をそらして、ティッシュなどで口・鼻をおおいます。



予防接種は早めに受けましょう。予防接種による効果が出るまでに 2 週間程度かかることから、12 月中旬までに予防接種を受けることが望ましいでしょう。



ご存知ですか？「公務災害」



“公務員の労災”が「公務災害」です。

皆さんも「労災」という言葉をご存知だと思いますが、実は公務員は「労災」の対象外とされています。代わりにあるのが**地方公務員災害補償法に基づく「公務災害」補償制度**です。

どんなときに、公務災害と認められるの？

公務(仕事)や通勤が主たる原因となった怪我や病気などが**公務災害と認められます**。

例・仕事中に庁舎内で転倒し、骨折した場合

- ・ 公用車運転中に交通事故に遭い、頸椎捻挫となった場合
- ・ 窓口対応中、激高した訪問者に叩かれ、顔面に裂傷を負った場合
- ・ 通勤中に凍った路面で転倒し、頭部を強打した場合

公務または通勤中の怪我や病気であっても、私用や持病が原因の場合、公務災害と認められない場合があります。

原因の多くはちょっとした不注意。職場の整理整頓や時間に余裕を持った行動など、安全な職場づくりを心がけよう！



習慣をカエルくん

公務災害に認定されるとどうなるの？

公務災害に該当する怪我や病気には**共済組合員証(保険証)**は使えないよ。正しく申請しましょう。



意識をカエルくん

- ・ 認定された怪我や病気に係る治療費は「**地方公務員災害補償基金**」が全額負担します。
- ・ 一定の後遺障害が残った場合の「**傷害補償**」、死亡した場合の「**遺族補償**」等の補償制度があります。
- ・ 認定された怪我や病気の治療のため、**特別休暇**を取得することができます。

公務災害かな？と思ったら、どうすればいいの？

公務災害に係る認定や補償は、「**地方公務員災害補償基金**」が行います。

知事部局では総務部人事企画課、教育委員会では学校教育振興課、警察本部では警務部厚生課に基金の窓口がありますので、所属を通じて下記の担当者へご相談ください。



<窓口・担当者名>

知事部局	総務部人事企画課	予算・栄典G	黒川	TEL : 0776 - 20 - 0945 (直通)
教育委員会	学校教育振興課	福利厚生室	川上	TEL : 0776 - 20 - 0560 (直通)
県警本部	警務部厚生課	補償係	奥山	TEL : 0776 - 22 - 2880 (内2763)



職員の能力開発 について



研修を通して、
企画力・実践力・
プレゼン力を磨こう！

行革のすすめ



自分をカエルくん

今年度から新たに「行政経営戦略研修」を実施し、優れた企画・構想力や実践力を備えた人材の育成を行うための政策形成研修を行っています。今回は事務職のほか、土木職、建築職、保健師など8職種、計21名が受講しました。

このたび、5か月間の研修成果を発表しましたので、その概要をお知らせします。

1 日時

平成23年11月11日（金）13:00～17:00

2 場所

県庁正庁

3 政策テーマ・チーム名



「ふるさと帰住 新たなUターン促進戦略」
～期待！福井に帰ってきたい～

チームふくいSTAYる
4名



「ふるさと福井への定着、ふるさと福井への愛着」
～Uターン率アップと新たなふるさと納税～

TEAM ハッピーターン
4名



「親子で楽しむ福井観光」
～福井型ロングスティのすすめ～

明日に向かってガンバルマン
5名



「里山に育まれる越前そば」
～生きものマークを活用した中山間
地域農産物のブランド化の試み～

おろCそば
4名



「親子で学ぶ！ふるさと福井の『里地里山』」
～知っているかい？人と自然がいきる場所～

政策やろう☆Aチーム
4名

※企画書は「職員のひろば→表彰・研修→職員研修→行政経営戦略研修（平成23年度）」で公開しています。是非ご覧下さい。



グループごとに、週1回は集まって打ち合わせを行い、また最低一度はインタビューなど現場での情報収集を実施するというハードな研修でしたが、受講者からは高い評価を得ました。（5段階評価 理解度4.1、満足度4.6）

受講者からは、「人任せにすることなく、全員で議論が進められた」「議論を重ねることで新しいアイデアが生まれることを実感した」「業務との両立は非常に辛かったが、それ以上に得たものも大きかった」などの意見がありました。